

2026 年 4 月 15 日

[配信枚数 1 枚]

発信元 滋賀大学総務課企画・広報室

報道関係者 各位

学生団体が古典芸能の世界に触れる機会として 「能・謡・仕舞への誘い」を開催

滋賀大学では、彦根キャンパスにおいて、学生・教職員を対象に、古典芸能である能・謡・仕舞の魅力に触れていただくイベント「能・謡・仕舞への誘い」を開催いたします。

取材のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

【能・謡・仕舞への誘い】

日 時：2026 年 4 月 22 日（水）12 時 10 分～

会 場：滋賀大学彦根キャンパス イニシアティブ棟「創竹庵」（彦根市馬場 1-1-1）

内 容：謡「高砂」～高砂や この浦舟に帆を挙げて～

仕舞「竹生島」

☆公演後、謡体験・質問コーナーあり

出演者：観世流能楽師 宮川卓也

主 催：滋賀大学文化サークル連合

共 催：滋賀大学陵水会

〔主催者からのコメント 一部抜粋〕

「能楽」は、観阿弥・世阿弥親子が大成した古典芸能で、ユネスコの世界無形遺産にも登録されたことはご存知だと思いますが、映画「国宝」で描かれた歌舞伎などに比べると接する機会が多くないように思います。

能楽は、西洋のオペラやミュージカルに負けない日本の歌劇であり舞踏劇です。詳しく説明すると時間がかかりますが、今回は「百聞は一見に如かず」で、「能楽」の歌（ソング）の部分である「謡」と踊り（ダンス）の部分である「仕舞」を見ていただき、ちょっとした体験もしていただき、「能楽」の一端に触れていただく場にしたいと思っています。

滋賀大学経済学部には、今から 30 年余り前には、約 50 年以上の歴史を持つ「能楽部」というクラブがありました。平成の初めころになくなってしまいましたが、OB は健在で、時々集まって、謡や仕舞を楽しんでいます。

●本件に関するお問い合わせ先

滋賀大学学生支援課 担当：植田

TEL：0749-27-1020 E-mail：seikatsu@biwako.shiga-u.ac.jp